

# 8月の柳井金魚ちようちん祭り 「弘前ねふた」と共演

## 練り歩きは中国地方初

柳井市などでつくる柳井金魚ちようちん祭り協議会は、市中心部で8月13日にある祭りの計画をまとめた。35回目を記念し、青森県弘前市から柳井金魚ちようちんのルーツである「弘前ねふた」を招く。



大勢の見物客でにぎわった昨年の柳井金魚ちようちん祭り

ねふたは会場に展示するほか、祭りの最後にJR柳井駅前の麗都路通りを練り歩く。柳井市観光協会が保有する高さ約3・5メートル、全長約1・6メートル、幅約3・8メートルの小型の弘前ねふたも運行する。市によると、弘前市の大型ねふたが市街地を巡るのは中国地方では初めてと

## 排水・渋滞対策の基準案示す

### 検討協 山口の県農業試験場跡地

県と山口市は5日、県庁で県農業試験場跡地(同市内水上)の利用検討協議会の8回目の会合を開いた。課題となっていた洪水浸水や周辺道路の渋滞対策を踏まえた基盤整備基準案を示した。

案は、排水路や道路などの機能面の基準を示した。調整池の設置を検討し、排水路は可能な限り既存のものを活用すると

いう。祭りは午後4時半から9時まで。麗都路通りから白壁の町並みまでの一帯である。電灯用として発光ダイオード(LED)ライトを使った金魚ちようちん約2500個を飾り、町を幻想的に彩る。

勇壮な引き回しで魅了する金魚ねふたは昨年より1基多い12基が出る。祭りは「柳井三大祭り」の一つといわれており、昨年は8万9千人が訪れた。今年は10万人の来場を目標にしている。

結果を町に提供する。住民は本来、保険会社と町の調査を別々に受ける必要があるが、今後は調査に必要な訪問対応などを省くことができる。町側の費用の負担はない。町役場であった締結式では、坂本啓三町長が「災害はいつどこで発生するかわからない。発生後の町民の負担軽減と罹災証明書の交付の迅速化につながることは心強い」と感謝した。同社徳山支社の上橋周平支社長は「地域の方が安心して暮らせるよう、万が一の際は和

## 罹災証明発行を迅速化

### 水害時 和木町と三井住友海上協定

和木町と三井住友海上火災保険山口支店(山口市)は5日、災害発生時の情報提供に関する協力を協定を結んだ。対象は水害で、同社の保険契約者の住宅の被害状況を町に提供し、迅速な罹災証明書の発行に役立てる。

水害が起きた際、同社

木町と連携し、イーに対応する。 (関

## 徳山動物園にコアラ 誘致調査

### 周南市長 餌のユーカリ確保が課題

周南市の藤井律子市長は5日の市議会一般質問で、コアラを徳山動物園(同市)に誘致できるかどうかの調査研究を始めたと明らかにした。地元からの提案を踏まえた。ただ、餌のユーカリ確保が大きな課題になるとして「総合的に判断する」と述べるにとどめた。

コアラは現在、全国7カ所の動物園・観光施設で飼育されているが中国地方にはいない。誘致できれば徳山動物園としても初めて。

藤井市長は誘致の利点を「集客効果が見込め、市の認知度向上にもつながる」と説明した。一方で責任を持って飼育するには餌の調達ハードルとなることを指摘。好むユーカリの種類が個体ごとに異なり、食べる新芽は市場で購入できないなどの問題点を示した。

コアラは周南観光コンベンション協会などが市に提案した。市は動物園の魅力向上を探る協



協定書を手にする坂本町長(左)と上橋支社長

# 山口総合